

◇ 令和6(2024)年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立老上西まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	18,519,000円		18,902,459円	コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の管理・運営に計画を超える支出があった。超過分はまちづくり協議会の自己財源より支出した。	地域課題の解決を目指し、活力ある地域社会と住み良いまちづくりを進めるために、地域住民の連帯意識の輪を広げながら、運営を推進していきます。
施設HPアドレス	http://www.machikyou.ip/oikami_nishi			2年目	18,779,000円	17,044,247円	予算計画の範囲内で計画的に支出が出来ている。	地域課題の解決を目指し、活力ある地域社会と住み良いまちづくりを進めるために、地域住民の連帯意識の輪を広げながら、運営を推進していきます。
指定管理者名	老上西学区まちづくり協議会			3年目	18,925,000円	17,475,801円	予算計画の範囲内で計画的に支出が出来ている。	地域課題の解決を目指し、活力ある地域社会と住み良いまちづくりを進めるために、地域住民の連帯意識の輪を広げながら、運営を推進していきます。
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			4年目	18,887,457円	17,393,103円	予算計画の範囲内で計画的に支出が出来ている。	地域課題の解決を目指し、活力ある地域社会と住み良いまちづくりを進めるために、地域住民の連帯意識の輪を広げながら、運営を推進していきます。
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日			5年目	18,895,000円	17,594,394円	予算計画の範囲内で計画的に支出が出来ている。	地域課題の解決を目指し、活力ある地域社会と住み良いまちづくりを進めるために、地域住民の連帯意識の輪を広げながら、運営を推進していきます。

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆
4	☆☆☆☆
3	☆☆☆
2	☆☆
1	☆

評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である

評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である

評価基準の最も多い評価が☆☆☆である

評価基準の最も多い評価が☆☆である

評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成28年4月1日
指定管理導入前の運営形態	市直営 + 一部事務委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)			
地域の人びとの共通の願いの実現や課題の解決を図ると共に地域のコミュニティを強化し、お互いに支え合いながら豊かで安心して暮らせるまち、住み続けたいと思えるまちづくりに寄与するセンターの管理・運営に努めます。			
【令和6(2024)年度 施設運営管理目標指標】			
・施設利用件数: 1, 933件 ・施設利用者数: 28, 023人			
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)			
目標として定められた評価項目については、基準を満たし、実行することができた。 三大イベントである、ふれあい音楽まつり、老上西ふれあいスポーツ大会、敬老会については、計画どおり開催することができた。 コロナ禍の影響もなくなり、すべての事業が概ね計画通りに実施することができた。前年に引き続き、草津市版地域再生計画に基づく、「矢橋帰帆島の利活用」の活動を推進した。また、中間水路の環境美化活動を行う「びわ湖まもり隊」の活動を支援した。講座等については、まちづくり講座、地域課題講座、人権講座、高齢者講座等を企画・実施した。			
施設利用件数、施設利用者数は目標値を下回った。更なる利用者数増の方策を検討する必要がある。 ・施設利用件数: 1, 236件 (R5実績: 1, 158件) ・施設利用者数: 21, 391人 (R5実績: 20, 523人)			
公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証			
(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないから、使用料金制としているが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。			

◇施設に係る主な指定管理業務		◆評価基準	
・老上西まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること		☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業実施に関すること		☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
		☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
		☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設の管理運営に関する業務		市(施設所管課)の評価	
評価項目1	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価	
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 ★★★★★	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。貸館の利用回数は減少しているものの、利用者は増加しており、より多くの方々が地域の活動に参画することに繋がったと感じる。 また、ボランティア団体の新設等により、さらに地域支え合いの輪が広がりつつありますので、引き続き、推進いただくよう期待する。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 ★★★★★	上半期に引き続き仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。 ふれあい音楽まつりでオーケストラ等による演奏や模擬店の出店、たすけ愛隊による「にこにこ食堂」等の実施により、世代問わざ多くの方が集い、地域活性化が図られていることを感じた。

施設および備品の維持管理等		市(施設所管課)の評価	
評価項目2	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価	
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 ★★★★★	仕様書等に定める基準を遵守しながら、事故なく安全な施設管理を行われた。 また、依然発生していた駐車場トラブルを招かないために、場内の案内表示(路面)を見直され、利用者サービスの向上にもつながる取組みを積極的に行われた。(以降、駐車場トラブルは一切なし)
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 ★★★★★	上半期に引き続き仕様書に定める基準を遵守し、設備点検や清掃を行うことで、事故なく安全な施設管理を行われた。 また、清掃業務においては、これまでシルバー人材センターに委託されていたが、令和7年度から実施される有償ボランティアのしくみを活用することを検討されており、学区内でまちづくりセンターを維持管理する姿勢が感じられる。

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務		市(施設所管課)の評価	
評価項目3	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価	
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 ★★★★★	仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。 地域のまちづくりの拠点として、学区内で深刻化しつつある高齢者の日常生活の支援検討(有償ボランティア)に着手され、上半期で検討会を6回開催された。 また、最近では、こどもや保護者を対象とした不登校支援にも取り組まれる等、幅広い分野で活動を展開されている。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 ★★★★★	上半期に引き続き仕様書に定められた基準を遵守しながら業務を実施された。 また、地域情報誌(3種類)やホームページに加え、LINEやFacebook、InstagramのSNSも活用し、新鮮な情報を素早く発信されている。 下半期においても有償ボランティアの検討会を開催され、先進地視察等も実施し、年度末にはチラシや規約を作成する等、有償ボランティアのカタチを作られたことは評価に値する。

組織の管理運営および提出物等にかかる業務		市(施設所管課)の評価	
評価項目4	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価	
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 ★★★★★	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。 また、空調の温度設定をはじめ、エレベーター保守管理業務の複数年度契約への変更、夜間管理における委託時間の見直しにより、経費削減に努められてこられた。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 ★★★★★	仕様書に定められた、職員体制を維持し、適切な研修等を行い、職員の資質向上に努められてこられた。 また、市への報告書等については期日内に適切に行われた。